イートラ

E-Traノート

TOPPAN

学校現場の多国籍化と外国人児童生徒の少数在籍（散在）化が急速に進んでいます。
「多言語に対応できない」「支援の手が足りない」… 急に編入してきた外国人には
「為す術がない」…そんな学校と保護者を救う画期的なツールが誕生しました。

E-Traノートは言語知識一切不要
教員と外国人保護者間を誤翻訳ゼロでつなぐ
先生目線で作られた新時代のツールです！

E-Traノートなら…

1. 全教職員が通訳・翻訳者に頼らず多言語で保護者に伝達できます
2. プリントや電話や家庭訪問など煩雑だった伝達作業を一括します
3. メッセージはコンテンツを組み合わせるだけで簡単に作成できます
4. 保護者の言語に自動変換されるので言語知識は不要です
5. 情報格差はありません多言語でも日本語と全く同じ内容が伝わります

保護者画面の例

日付・時間・場所・持ち物も自由に選択

下校時間変更の連絡（フィリピン語）

弁当持参を伝える（英語）

ファイル添付

面談の日程を確認（ポルトガル語）

6. 誤翻訳ゼロの安心コミュニケーション伝達業務による負担が確実に軽減できます
7. 保護者による既読が確認できるほか内容に応じた回答も受け取れます
8. 送信内容や保護者の既読・回答は全て保存され職員間で共有できます
9. メッセージがWEBを行き交わない安全なシステムにより守秘が徹底できます
10. PCから携帯電話まで機器を選ばず安心安全に活用できます

多言語＋マルチデバイス

日本語　ポルトガル語　スペイン語　中国語　ウルドゥ語　英語　ベトナム語　フィリピン語　インドネシア語　ネパール語

教員も保護者も機器を選ばない
既読確認、回答受信

定型文＋精度の高い翻訳
＝誤訳の心配ゼロ

日本語＋9言語（2023.12月現在、2024.4月ダリ語・パシュトゥ語を追加予定）

安全

メッセージを作成して保護者に通知

E-Tra【○○学校】BOX
教員（作成→通知）
保護者（通知受け→閲覧）

連絡ありの通知を受けBOXを閲覧

教員　保護者

・メッセージがWEB上に露出しないので連絡内容の漏えいや監視はありません
・送信内容は全て職員間で確認できます

誰でも簡単に多言語伝達 GIGA端末をフル活用して教員業務を軽減します

ショート動画をご覧ください！
E-Traノートの特徴が90秒で分かりやすく紹介されています。
（右のQRコードをスマホのカメラで読み取るとYouTubeが開きます）

Copyright©TOPPAN INC. Supervised by Hideki Wakabayashi

TOPPAN

地域別活用事例をご紹介します

茨城県常総市　集住地域　全校導入

茨城県南部に位置し、平成初期から工場勤務の南米人が集住。人口約61,000人に対し外国人は約6,200人で1割を超える。外国人との共生を推進する施策をとり、県内唯一の公立夜間中学校も設置されている。
これまで特定地域に居住していた外国人は、多国籍化と職業の多様化により現在は市内広範囲に居住、イスラム圏住民の増加も目立ち、モスクを中心にコミュニティも形成され、それに伴い学校に在籍する子どもも一層多様化している。
格差ない教育を目指す現市長の提案により、市が管理する全教育機関（市立小中学校18校と市立幼稚園2園）にR5年度E-Traノートが導入された。市内全校への導入は「教員が異動しても同様の支援が継続できること」「在籍数の違いにより支援に格差をつくらない」という教育委員会の意向でもある。

愛知県半田市　準集住地域　部分導入

愛知県南部に位置し、長らくブラジル人を中心とした工場労働者が多く居住、人口約117,400人に対し外国人約4,770人（約4%）の準集住地域である。2014年頃からベトナム人等が増加するなど多国籍化が進み、学校現場は南米系の子どもに加えアジア系の子ども支援の必要性に迫られてきた。
国際教室教員の要望でR3度1校に導入。「必要なとき教員自身で多言語連絡できる」「担任が使えば国際教室の日本語指導時間も確保できる」など成果がNHKのニュース番組でも特集された。
外国人児童生徒教育に積極的な市教育委員会は、今年度より初期指導教室の運営も開始し支援制度を再構築、R5年8月までに更に4校でE-Traノートを追加、外国人保護者対応を強化している。また、9月の教務主任会にてE-Traノート活用にむ向けてのE-Traノート活用に向けての説明会を実施、2023.12月末現在10校以上が導入を検討中である。

活用している先生たちの声をご紹介します

1 多言語
通訳では対応出来ない言語の家庭があった、情報が伝わり保護者が喜んでくれた。

2 簡単
難しいと思ったが使ってみたら簡単だった、多言語でササッとメッセージが送信できた。

3 安心
自分で多言語連絡ができる感動。いつも一斉メールを読んでくれない家庭にも伝わって安心した。

4 学校行事
授業参観の案内を送ってみたこれまで出欠確認が大変だった保護者から回答が来た。

5 定型文
定型文がこんなに便利とは驚いた家庭に伝えたい連絡のほとんどはE-Traノートで送信できる。

6 プリント添付
教室で配布したプリントも簡単に添付できた、これなら日本人の保護者にも使える。

7 臨時の連絡
修学旅行の帰着遅延を連絡した。未読の保護者にはすぐ電話連絡ができたので混乱が防げた。

8 転編入
外国人児童は突然の転編入をしてくるから言語対応が大変、E-Traノートがあれば安心。

9 管理職
定型文を組み合わせるだけだからメールトラブルも回避。E-Traノートなら全ての教員で活用できる。

10働き方

Before	E-Traノート
【学級担任】翻訳アプリでメッセージを作ったり夜に電話や家庭訪問をして伝えていた。外国人保護者対応は正直負担が大きい。	わずか1～2分で多言語送信できてしまうのでとても便利。既読の確認だけでなく保護者の回答も受け取れて安心。おかげで退勤時間が早くなった。
【国際教室】通訳さんに頼める時間は限られるので伝達が後回しになってしまう。離れている保護者には翻訳アプリも使えない。	通訳さんの巡回を待たずに自分自身で多言語で伝えられてしまう。仕事がはかどるし日本語指導の時間もしっかり確保できるようになった。
【配布物】配布プリントの内容が保護者に伝わらないと負担は教員に跳ね返ってくる。でも翻訳して配布するなんてとても無理。	E-Traで説明できるからプリント類は日本語で配るだけで大丈夫。先日はパキスタン人の編入に少し慌てたがウルドゥー語で伝えることができた。

利用料金　1契約（1校）5,000円（税抜）/月×12カ月　※1契約で利用できる教員数や保護者数に制限はありません。
注1）利用料金は2023年8月現在の内容です。　注2）年度途中からのご利用も可能です。

お問い合わせ　地域や学校のニーズに合わせたご相談を承ります。お気軽にお問い合わせください！
https://solution.toppan.co.jp/newnormal/service/e_tranote_service.html

監修　若林秀樹
宇都宮大学国際学部客員准教授
中学校の英語教員を経て、2010年より大学にて外国人児童生徒教育研究に従事。教員時代の経験から学校と外国人保護者との連絡に課題感を持ち、E-Traノートを考案。2019年総務省多言語アプリコンテストで最優秀賞を受賞。日本における多言語翻訳技術の教育活用の第一人者。「E-Traニュース」で検索

TOPPAN株式会社　E-Traノート事務局
〒112-8531　東京都文京区水道1-3-3
電話：080-2021-8248（丸山）、080-2193-6904（井戸）
メール：uketsuke-tagengo@toppan.co.jp, FAX：03-5840-1616

Copyright©TOPPAN INC. Supervised by Hideki Wakabayashi